

長野大学環境ツーリズム学部 里山里海実習

実施報告書

2010年11月12日（金）～14日（日）

早くも能登実習第2弾が実現。参加者の8割以上がリピーター

6月にはじめて能登実習を行った長野大学が、早速2回目を実施しました。11月12日（金）より2泊3日の日程で学生と教員あわせて12名が参加。そのうち10名は第1回目の参加者で、能登への関心の高さがうかがえました。また、今回は長野大学独自の認定資格「森の恵みクリエイター」養成講座の正規の授業として位置づけられ、能登を舞台に、エコツアー、森林や植物の活用について学びとともに、定置網体験をおこない能登の里海について学びました。



実習の目的

- 1 「森の恵みクリエイター」養成講座の実習
- 2 前回実施できなかったエコツアー、定置網を体験
- 3 「能登里山マイスター」の活動を見学

1日目

エコツアーを通じて能登の里山を学ぶ

1日目 プログラム

◆能登の新しいエコツアー

鉢伏山をフィールドに、今年本格始動したエコツアーを体験。町野川の源流を巡りながら、紅葉の時期ならではの植物観察を交え、五感でフナ林を感じてもらいました。

インタープリター：株式会社ぶなの森 山崎昭宏 氏

◆学習交流会

1. 金沢大学の能登での取り組み

講師：金沢大学 宇野文夫コーディネーター

2. 明朝お世話になる㈱佐々波鱒網の若手社員さんから、定置網漁法の特徴、自社のユニークな取り組みについて紹介いただきました。

講師：(株)佐々波鱒網 大島 要 氏 & 濱健一郎 氏
会場：民宿 潮路



ー 山崎さんより、紅葉する仕組み、カエデの種類、ナラ枯について、実物を見ながら解説をうけました。

「いま下ってきた道は、昔は炭を担いで登った道」と、炭窯跡を前にして聞く先人の里山活用の話に感慨もひとしおー



ーまず目隠しをして、パートナーの誘導でお気に入りの木を選ぶ。次にスタート地点に戻って目隠しをとり、自分の選んだ木を探す。においを嗅いだり、木肌を触ったり、五感をフル回転して自分の木を見つけたときは感激！のゲーム。



↓ 佐々波鱒網の大島さんと濱さん。定置網がなぜ「持続可能な漁法」か、「佐々波鱒網」という会社の面白さを学びました。



↑ 宇野コーディネータから、能登オペレーティングユニットや、COP10への参加など、大学の地域連携について紹介。



↑ 民宿潮路さんが、夕方に船を出して準備してくれた、とれたての刺身に大感激！ 自家製米を5杯おかわりした学生も。



↑ 森と結ばれる時間を体験中。森林に横たわって自分が森の一部に。少し寒い日でしたが、もう少し居たかったという意見多数。

2日目 プログラム

◆定置網漁法と魚の出荷見学

網の引きあげと、魚の仕分、出荷を見学した後、学生一人ひとり感想を述べ、質疑応答を行いました。勝木社長も同席くださり、「学びながら稼ぐ」というポリシーをお話いただきました。

株式会社 佐々波鱒網

◆金沢大学「能登里山マイスター」と地域とのかかわり

1. 能登で自生するサカキを、新たな栽培品種とすべく活動している紀州氏(マイスター1期修了生)の活動紹介の後、能登町でサカキを栽培する大下氏の圃場を見学。

講師：(株)花座 記州秀幸氏 & 大下勝義氏

2. 珠洲市横山地区で今井氏(マイスター3期受講生)が取り組んでいる農産物の活用についてのお話と、大浜大豆の圃場見学。

講師：今井豊氏 &
珠洲市横山振興会代表 二三位義春氏
石川県珠洲農林総業事務所 細川一郎氏

国民宿舎やなぎだ荘にて入湯

◆夕食&宿泊

前回もお世話になった、輪島市三井の茅葺民家・福嶋邸へ。



←三井経済活性化協同組合の山浦 芳夫氏を中心となって夕食を用意していただきました。山浦さんから、前回の宿泊時の学習交流会が素晴らしく、またその後のアンケートによる振り返りもとても為になった、どうれいとお言葉をいただきました。

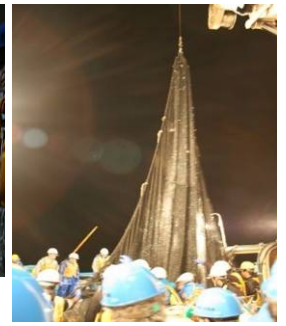
→ 地域の生産者・二三位さん、農林事務所・細川さん、そして移住者・今井さんの3人の連携に注目が集まりました。二三位さんからはお土産もいただきました、ありがとうございました。



朝3時起きで漁師の世界を体験。船長の無言のサインで着実に進行する作業、チームワークに驚きました。

水揚げ後、スピード勝負の市場出荷に向けた魚の仕分け作業もまた、職人技。→

↓ 記州さんが外から持ち込んだ視点で、能登の里山に新たな価値が生まれようとしていることに、刺激を受けました。



「よそ者視点」で地域資源をいかす活動を体験

3日目 プログラム

◆「まるやま組」の活動と三井地区の人々との交流

輪島市三井地区へ移住した萩野夫妻が主宰する「まるやま組」の活動に参加するとともに、地元の谷口氏や新井氏をガイドとして三井町市ノ坂地区を案内していただきました。

講師：萩野紀一郎 & ゆき氏
三井の方々(散策ガイド)



←「まるやま組」に参加。月に1回、花や実を中心とした植物調査で、里山マイスターの伊藤博士が同定を行っています。

→ 新井氏が実践する「不耕起水田」について、ご本人から教えてもらいました。



←地元の谷口氏のガイドで、茅場の様子や地域の行事など、いろいろな説明を受けながら歩きました。先生や学生が興味を持ったのは、未整備の農業用水路や、田舎の風景でした。↓



←三井地区の細川さんが作ってくれた、山菜おこわ・漬物・干し柿を各自で竹の皮に包み、お弁当の完成。みんなで楽しく包みました。